

令和8年度行政事業レビュー「公開プロセス」 論点

事業名	緊急消防援助隊設備整備費補助事業
論点	
<p>効果検証を強化し、成果に基づく制度運用へ転換すべき</p>	
<p>○ 効果発現経路の順序やアウトカム指標の設定は、適切なものとなっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模災害に対応するため、隊種ごとにどの地域でどの程度増やしていくのかという基準はあるのか。その基準をアウトカム指標に設定できないか。 ・ 緊急消防援助隊の登録数だけでなくその質も確保していくため、アウトカム指標に、隊種別の目標値を設定する余地はないか。 ・ 短期アウトカムの目標値が「交付決定件数（車両等）」となっているが、緊急消防援助隊に登録することを前提に交付決定されており、アウトプットと短期アウトカムは同じと考えられるため、効果発現経路を再考すべきではないか。 	
<p>政策目的と手段を精査し、公平で目的に即した政策設計・運用を徹底すべき</p>	
<p>○ 本補助金の対象となる設備への交付決定は、自治体からのニーズ、近年における出勤実績、災害リスク等を踏まえ、適切に行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体から設備の拡充や老朽化した設備の更新等のニーズも把握した上で、適切に交付決定を行っているか。 ・ 本事業による設備整備の補助が自治体にとってもメリットがあり、緊急消防援助隊への登録のインセンティブを高めるスキームとなっているか。 ・ 第五期基本計画で示された目標整備規模と交付実績の間に進捗の差がみられるが、自治体からの申請だけでなく、災害リスクや老朽化の状況等を考慮した交付決定を行っているか（国全体として、どの設備（隊）を優先して整備すれば、最も災害対応能力が高まると考えているのか。） ・ 近年における緊急消防援助隊の出動事例において、本補助金で整備された車両等の活動実績・使用頻度等のデータを分析した上で、今後の配分方針に活かせる余地はないか。 <p>○ 緊急消防援助隊の増隊により増員された隊員の人件費については、交付税等で適切に措置されているか。</p>	